

中国人研修生に

インタビュー

新津市内には現在約30名の中国人研修生がいて、朝日の婦人服製造業(株)デイリーで研修している、大連からの女性11名と新潟国際人材交流事業協同組合からの派遣として建設会社で受け入れている男子研修生16名です。そこで(株)飯野建設の研修生にお話を伺いました。

22歳の白茂林(バイモウリン)さんは研修一年目のホヤホヤでとても恥ずかしがりなのが、いつもニコニコして静かに話を聞いてくれる感じの男性です。日本語がまだ良く分からないので飯野社長作成のオリジナル日本語練習テープを毎日聞いて勉強している頑張り屋さんです。

25歳の劉湃(リュウパイ)さんは2年目で、昨年、技能実習検定と日本語の試験に合格し、晴れて技能実習生となり、社員待遇となりました。ポツチャリとしたホッペがカワイイ、性格の良さそうな男性です。日本語も上手で、通訳なしでなんでも話してくれました。

Q1. 日本語は難しいですか?

白「文法も方言も難しいです。」

劉「やはり外来語や建設の専門用語が難しいですね。」

Q2. 日本に来る前と後では印象は変わりましたか?

白「日本は進歩した国だと思っていたし、現実にもそうだと実感しています。仕事熱心な国ですね。」

劉「前は言葉も何も分からなかったけど今は、日本は中国に比べて公害が少なく、きれいで良い社会だと思う。車に鍵をつければ盗まれなくても盗まれないなんてすごく治安がいいんですね。」



劉湃(リュウパイ)さん 白茂林(バイモウリン)さん

飯野「中国は深刻な公害問題を何とか解決しないと、将来は難しいと思います。彼らが帰国後少しでもこういう社会問題解決に役立ってくれば嬉しいです。」

Q3. 日本食はどうですか?

白「僕は回教徒で豚肉も酒もタバコもやりませんが、大体何でも好きです。日本食はおいしいです。」

飯野「彼にごちそうするのは難しいけど、焼き鳥屋と寿司屋は大丈夫なんですよ。」

劉「納豆はどうしても口に合いません。」

将来の夢を聞いたら、中国は「不言実行」の国なのか、はっきりとした答えは出ませんでした。日本では「夢に向かってがんばれ」などといいますが、中国では少し考え方が違うのかも知れません。彼らが言うには「今の毎日を賢明に過ごすことが大事で将来のことはまだわからない。でも母国に戻って国のためになる会社を作ったり、建設の技術を生かした仕事につきたい。」そうです。

そこで、最後に新津の皆様にお願いがあればどうぞと言いましたら、

白「中古のシングルベッドがあればお願いします。」

劉「いらないカメラがあれば、欲しいです。また日本語の勉強のためにもし不要になったワープロや学習用フロッピーがあれば嬉しいです。」

とのことでした。どうぞご協力をお願いします。彼らの将来の可能性にかけて、「加油!」(じゃゆ=ガンバレ)

新津ネパール友好協会が誕生!

昨年、新津の普賢寺にネパール人研修生3名が3か月滞在し、近隣で農業研修を終了しました。そしてその流れを受けて市内の有志を中心とした「緑と防災による国づくりの調査団」17名がネパールを訪問し、とても感激して帰国しました。ネパールといえばヒマラヤを想像する方は多いでしょう。でも調査団を魅了したのはそれだけでなく、驚くほど多い日本の共通点や相違点、人々の活れ無き心と生き方が、豊かになりすぎた日本人に今一度、大切なものを教えてくれるようです。そんなネパール病にかかった人々が集まって1月12日に友好協会を設立しました。

これからは両国でできることを考えて、お互いを高め合うための活動をしてきます。

例) 農業研修生の受入れ
チャリティなどの物資支援
ネパール訪問に関する情報提供
入会をご希望の方は、(年会費1000円) 新津国際交流協会内の事務局までお申し込みください。
(☎24-2111 内線334)



♡ 私、ミッシェルです ♡

ABOUT ME

Michelle Honnold

Coming from the small town of Effingham Illinois, I have found that Niitsu was an ideal place for me to have my first experiences living abroad. I grew up in a family of five. My father is a bank examiner and my mother a nurse. My older brother is a horse-shoer in a suburb of Chicago, and my youngersister is a seventeen-year-old high school student.

I have been interested in living abroad for years, but due to school, this was my first opportunity to do so. Japan was the first foreign country for me to visit. Since my move to Japan though, I have had the chance to visit Thailand, Singapore and China.

I received my Bachelor's degree in English/Literature at a small college in Illinois. I then received my Master's degree in Indiana. During my graduate studies, I taught composition classes. Soon I developed an interest in coming to Japan, because many of my students were Japanese exchange students. I enjoyed the work and decided to find a job in Japan.

My family was very supportive of my decision, and actually quite excited that I would have an opportunity to live and work in a foreign country. But they were a little sad and worried. My parents have been the biggest influence in my life. They have always been emotionally and financially supportive of the goals I have chosen to pursue. I wouldn't have accomplished what I have, academically and socially, without their constant encouragement and support.



思い出のアルバム



5才



12才



13才



14才



「私について」(要約文)

米国イリノイ州エフィンガムという小さな町の5人家族で生まれ育った私が初めての外国生活をするには新津は最適でした。父は銀行の監査役で母は看護婦、兄は馬の蹄鉄師で、妹は17才の高校生です。

ずっと外国に行くことに憧れていましたが、学校のこともあり今回日本が初めてでした。でも来日後、タイやシンガポール、中国にも旅行することができました。

イリノイの小さなカレッジで英文学の学士号を取り、インディアナの大学院で修士号を取りました。大学院では英文法のクラスを教え、そこには日本からの留学生がたくさんいたので、私は日本で仕事をしてみようと思ったのです。

家族は「私の決断」に協力的で、外国で働く大切なチャンスだと喜んでくれました。もちろん心配し、寂しがりました。両親は私の人生において、いつも大きな影響を与えてくれました。私がしたいと決めた事にいつも、精神的にも経済的にもサポートしてくれました。彼等の絶え間ない励ましがなければ、私は学問的、社会的にもここまで達成できなかったといえるでしょう。感謝しています。

ミッシェルさんのお別れ講演会に
来てね! 6月29日(火) 午後6時より、妹の
ステファニーさんも特別来日!

明るいまちづくりに貢献する
総合建設業
株式会社 飯野建設
代表取締役 飯野吉喜
新潟国際人材交流事業協同組合事業委員長
〒956 新津市本町4-17-47 TEL 24-1611 FAX 24-1612

LADY'S FASHION CREATOR
Daily **デイリー株式会社**
代表取締役社長 神谷 學
〒956 新潟県新津市大字朝日70-1 TEL (0250) 22-5155(代)
FAX (0250) 24-8554

Think Globally, Act Locally.

地球の視野で考え、地域で行動しよう!!

応援します。国際交流



さ の し が い い ん
佐野歯科医院
院長 佐野 澄子
新津市北上2丁目1-54 ☎ (24) 2828
☎ (24) 0111